

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12030020

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成30年度 図書館建設:504,000千円、完了検査:320千円 工事監理委託:16,200千円、土地購入:2,130千円 外構工事その1(道路・上下水道既設工作物撤去):9,600千円、 外構工事その2(施設周辺整備):14,500千円、 備品購入:80,000千円、図書管理システム(1次導入分):7,000千円 郷土資料展示:28,500千円 平成31年度 外構工事その3(道路舗装、駐車場・施設周辺整備):41,300千円、 移転経費:800千円、図書管理システム(2次導入分):6,500千円
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	A		
単位施策	4	図書サービスの充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町図書館建設事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	調査、基本計画策定、図書館建設		関係課	#N/A		
事業目標	調査に基づく方向性の確立、1計画、1施設		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加 住民協働	有	行政からの情報発信、住民からの意見の聴取・情報共有	関係例規・法令名			
			関係個別計画名	有 雄武町図書館整備基本計画		

		全体計画 事業内容	平成25年度 事業内容	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	平成28年度 事業内容	平成29年度 事業内容		
計 画 内 容		<ul style="list-style-type: none"> ●図書館施設のあり方等、整備に向けた調査及びまとめ ●基本計画策定 ●プロポーザル・基本設計委託・実施設計委託 	調査・まとめ	基本計画策定	基本計画策定 建設敷地現況測量業務委託	基本計画策定 プロポーザル実施に向けた準備	プロポーザル 基本・実施設計委託 46,000千円 建築確認・構造計算適合性判定 500千円 郷土資料展示設計 1,100千円 既存施設解体 (H30年度へ繰越) 28,400千円		
	計画事業費	事業費(千円)	78,000	0	0	2,000	0	76,000	
実 績 事 業 費	財源内訳	国庫支出金	0						
		道支出金	0						
		地方債	33,600					33,600	
		その他	0						
		一般財源	44,400			2,000		42,400	
実績事業費	事業費(千円)	77,500	0	0	1,901	0	75,599		
関 連 事 項	特定財源の名称 過疎対策事業債	【評価・実績】	(実施内容等) 「雄武町図書館を考える会」からの提言により、「建設すべき」との方向性が示された。	(実施内容等) 道内図書館の視察を行い、基本計画の内容について検討・整理しているが、完成には至らなかった。	(実施内容等) 基本計画の内容について方向性は定まったものの、建設が1年先送りとなったことに伴い、平成28年度も策定業務に費やして細部まで煮詰めることとした。	(実施内容等) 基本計画の策定業務が完了した。	(実施内容等) 図書館建設及び郷土資料展示の基本・実施設計を完成させ、建築工事に係る構造計算適合性判定及び建築確認申請を行った。既存施設解体工事は3月下旬に着工し、5月下旬に完了予定。※事務事業評価結果 A-継続/現状維持		
			※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持			
			前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	調査に基づく方向性の確立	1計画	1施設	1計画	1施設(設計)
			第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	95%	#DIV/0!	99%
				全体達成率	0%	0%	2%	2%	90%
	備考欄								

事業名	雄武町図書館建設事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課長補佐	石山 英伸

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	利用者(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	図書館整備に係る各種設計業務の完了								
【抱える課題やニーズは】	図書館は地域の情報拠点であり、町民の誰もが居心地の良い場所として利用できる空間であるが、現在の図書館は施設が狭小なため、町民ニーズを十分応えることができていない。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	十分な閲覧スペースや学習スペース、蔵書を備えた新たな図書館を整備することにより、地域の情報拠点としての役割を果たし、町民の生涯学習の推進と地域の活性化に寄与することを旨とする。	① 図書館建設及び郷土資料展示に係る基本・実施設計業務	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	1施設	実績値	1施設	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	1施設										
実績値	1施設										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	いつでも、誰でもが気軽に立ち寄れる居心地の良い空間となることにより、幅広い町民のコミュニケーションの場となり、町民の生涯学習の推進と地域の活性化が図られる。	② 建築確認・構造計算適合性判定申請	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	1施設	実績値	1施設	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	1施設										
実績値	1施設										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	<p>① 図書館建設基本・実施設計業務 建築確認申請、構造計算適合性判定申請</p> <p>② 郷土資料展示基本・実施設計業務</p> <p>③ 図書館建設に係る町民との協働</p>	<p>平成29年5月に6社による指名プロポーザル方式により委託先設計業者の選定を行い、平成30年3月末に設計業務が完了。新図書館の建物本体の詳細が決まった。また、平成30年3月下旬に建物本体の建築に係る申請事務を完了した。</p> <p>平成30年3月下旬に設計業務が完了し、新図書館における郷土資料展示の詳細が決まった。</p> <p>平成29年11月に「新しい図書館を考える町民ワークショップ」を開催し、基本設計に関する町民からの意見・要望等を聴取した。それらの一部を設計内容に反映させた後、平成30年3月に「基本設計に関する町民説明会」を開催し、基本設計の概要を町民に説明した。</p>									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	現図書館が抱える課題解決のため、地域の情報拠点となる新図書館の整備は、町民の生涯学習の推進と地域の活性化のために必要なものであり、行政が推進すべきものである。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	計画どおり一連の設計業務を完了し、新図書館の詳細が決まった。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	建物の基本・実施設計については、6社による指名プロポーザル方式により、コストのみで判断せず、的確かつ魅力的な技術提案を行った設計業者を委託先として選定し、本町の新たなランドマークとなることが期待できる新図書館の設計が完成した。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	図書館は、町民の誰もが居心地の良い場所として利用できる空間であるとともに、新図書館の整備は町民のニーズに応じたものであることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	A	
	指名プロポーザル方式による設計業者の選定を行い、本町の新たなランドマークとなることが期待できる新図書館の設計が完成した。	

今後の展開方向
(Action)

	継続/拡充	
	設計が完成したことから、平成30年度は本体工事及び外構工事を実施する。	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止